World BOSAI Forum

世界防災フォーラム
News Letter

Vol.17
2023.12
2023年 12月号

一般財団法人 世界防災フォーラム事務局
e-mail : info@worldbosaiforum.com WEB : http://www.worldbosaiforum.com

写真左：平田裕之さん（一般社団法人地球温暖化防止全国ネット）
写真右：小野裕一（世界防災フォーラム）

気候変動適応で世界防災フォーラム、TikTokとコラボレーション！

「みんなで学ぶ気候変動フォーラム」に若手動画クリエイターらと登壇

TikTokは若年層を中心に幅広い世代に対し、気候変動問題への関心を高めるべく、「みんなで学ぶ気候変動」プロジェクトを推進しています。世界防災フォーラムはその趣旨に賛同し、11月19日、東京渋谷で行われた同社主催のイベントに世界防災フォーラム代表理事小野裕一が登壇しました。

小野は、1000年単位の気候変動であれば適応することができても、100年単位の急激な変動に地球が適応することは難しく、特に災害に関しては今までのやり方が通用しなくなると警鐘を鳴らします。また、ESG投資など気候変動への取り組みがグローバルビジネスの常識となる中、欧州ではさまざまな対策が進んでいる一方で、南北に長く四季のある日本は、他国と住環境も全く異なり、災害対策も必須だと指摘します。

気候変動問題は私たちが避けて通ることのできない命題です。私たちは今後も様々なステークホルダーと協力し、この課題に立ち向かってまいります。

サイエンスアゴラ2023でセッションを実施しました

首都直下地震や南海トラフ地震などの次なる災害にどう備えれば良いのか。糸口となる鍵の1つは、組織を超えた平時のつながりを生かした「コレクティブインパクト」の創出です。

今回のセッションの目的は防災や災害支援に取り組む実働者、さらに災害弱者である障害者の方が一同に会し、それぞれが持つ知見や経験を共有し、来る国難級の災害への備えるというものでした。“Nothing about us without us” 「防災施策立案にあたり、一番被害を受けやすい災害弱者の声を聞いて」といったメッセージが印象的なセッションとなりました。

いのちをつなぐ未来館の川崎杏樹さん

岩手県・釜石に絵本を届けました！

各国のローカルな津波体験、当財団が実施した BOSAI Walk の様子を国連（UNDP）が絵本にしてくださいました。そこで財団は、この絵本を「いのちをつなぐ未来館」に届けてきました。

この絵本は 2023 年 4 月にタイの国連事務所で打合せをした際に頂いたものです。World BOSAI Forum2023 で好評を博したため、絵本に登場した語り部の川崎さんを通じて「いのちをつなぐ未来館」で配布していただくことになりました。地元では世界に発信する実感や意義を感じにくいことが課題、と語ってくれた未来館の川崎さん。

次回のフォーラムでは、この絵本のようなローカルからグローバルへの発信だけでなく、地元の方にも得るものがある取り組みを企画しようと思います。

ビルドバックベターを探す東北沿岸縦断の旅
WORLD BOSAI WALK TOHOKU +10

絵本になったBOSAI Walk とは？

正式名称は World BOSAI Walk Tohoku +10。東北の魅力や、「より良い復興 (Build Back Better)」の取り組みを世界中に発信するために開催したウォークイベントです。

財団は２年に 1 度「世界防災フォーラム」を開催していましたが、2021 年はコロナウイルスの影響でフォーラム開催が延期になりました。そこでフォーラムの代わりに、福島から青森まで実際に歩いて人々の生の声を聞き、発信する、40 日間 1000 ㎞の徒歩の旅を実行しました。イベント開催時には財団の各種 SNS で多言語発信をおこないました。来年は特設 WEB ページをアップデートし、より発信の質を高める予定です。

本年も世界防災フォーラムを応援いただきまして誠にありがとうございました

早いもので今年もあと２週間を残すあまりとなりました。修羅場のような忙しさに幕を開けた 2023 年はあっという間に 3 月の World BOSAI Forum2023 開催を迎えました。東北大学、仙台市、宮城県、多くの企業や団体、個人の皆様のおかげで成功裡に終了することができました。

8 月には、関東大震災時の米国からの支援へのお礼として、日本の学生が書いた手紙の調査のため渡米しました。今回の発見は 3.11 のトモダチ作戦まで繋がる国際支援の貴重な歴史的資料であると同時に、当時のクーリッジ大統領の子孫によって 100 年前の手紙が大切に保管されていたことは、私達に災害の教訓や経験をつなぐことの大切さを改めて示したものでした。

一方、運営面では WBF 開催で 1000 万という大きな赤字を計上し、来年８月までに挽回することが必要となっています。独立採算の NPO 経営の難しさを実感した年でもありました。それでも年末を迎えられたことはひとえに皆様のご支援のおかげです。重ねて感謝申し上げます。

2025 年 3 月実施予定の WBF2025 はすでに準備に入っています。私達はこの仙台から始まった「World Bosai Forum」を次世代に繋ぎ、BOSAI の理念を世界中に広げていけるよう、今まで以上の知恵と覚悟を持って活動していく所存です。これからも世界防災フォーラムをよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

世界防災フォーラムの活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。

いただいたご支援は世界防災フォーラム開催などの事業や日々の私たちの運営費に活用されます。

ご寄付はこちらから